

# 碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
 神奈川 碩心 会 発行

10年 8月現在 会員数  
 逗子地区 134名  
 葉山地区 203名  
 大船地区 31名  
 (合計 368名)

10年 8月 (313号)  
 発行者 千岳 関  
 編集者 白井 麗  
 印刷所 (有) 片桐 印刷  
 電話 0468 (78) 7993

## 行事予定

○全国吟道大会  
 日時・10月4日(日) 碩心会より34名参加  
 会場・北海道厚生年金会館(10/3~10/6)  
 ○平成10年

全国優秀吟者神奈川地区第一回予選  
 7月22日19時より図書館講座室に於て、優  
 秀吟者神奈川地区予選会のため、左の16名が  
 予選を通過されました。次回は9月27日に県  
 地区の予選会に碩心会の代表として出吟しま  
 す。

### 漢詩の部 (申込み順)

松岡杏風	根岸啓岳	新井国山	和歌の部	佐野雅山	加藤芳岳	駒場咲風	一柳良岳	坂本神風	小金智風
	村上雍風	磯村朋岳			下村佳風	植村成風	村井知岳	上村象岳	西川幸岳

## 歴史ある碩心会の副会長として

松井正岳

碩心会幹部の今後の為の若返りを考えた、  
 千葉岳関新会長の決断で、歴史ある碩心会副  
 会長という大変な役をお引き受け致しました。  
 詩吟を始めて二十数年、何時の間にか過ぎ  
 た年数、と言うのが正直なところです。

前任総務部長の加藤岳洵副会長より総務を  
 引きつぎ、やっと会全体が解ってきたところ  
 での指名でした。急なことで後任者のいない  
 まま副会長、総務部兼任とのことでお受けし  
 た次第です。父岳洋と親子二代に亘って碩心  
 会の皆様には大変お世話になり感謝いたして  
 おります。私としては少しでも皆様に恩返し  
 が出来ればと思い、千葉会長の構想に協力し  
 ていくつもりです。

会員の皆様がどんな碩心会にしたいのか、  
 どんな考えを持っているのか、機会があるこ  
 とに聞いてみたいと思います。自分自身は今  
 迄通り皆様と一緒に大好きな詩吟を吟じあっ  
 ていきたいと考えています。  
 先輩共々会の発展に頑張ってください。ど  
 うぞよろしく願います。

## 第一回碩心会夏季講座開催される

教務部長 杉山 岳雪

手を翻がえせば雲となり  
手を覆えせば雨となる

人間社会にもどこか軽薄さを感じるようになり、心寒からしめる事件の多発している近頃ですが、碩心会では去る7月11日、逗子図書館ホールに於て夏季吟道講座を行いました。131名の受講者と6名の講師の先生方で、9時25分開講式。講師紹介に続き会長挨拶があり第6時限予定の千葉岳関先生の秋風の歌を1時限に繰り上げて行なわれました。直接ご指導いただく機会のない先生にご指導いただくにあつてか、受講者の熱気を感じました。テキストも教務部の手作りです。不安と心配で緊張いたしました。万端滞りなく終了し、お手伝い下さいました皆様のお陰と感謝申し上げます。

感じております。  
「一吟天地の心」、今回の夏季講座につきまして皆様のご要望などお聞かせ下さい。次の参考にさせていただきますのでよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、ご指導下さいました松井副会長先生並びに講師の先生方に厚く御礼申し上げます。

《吟道講座内容》

第一時限	秋風の歌	千葉岳関先生
第二時限	楓橋夜泊他	村田岳澗先生
第三時限	三夕の歌	鈴木岳抄先生
第四時限	桜花の詩	中村岳愛先生
第五時限	静夜思 他	加藤岳洵先生
第六時限	雑詩	加藤岳相先生

この度意欲的に初めた夏季吟道講座は炎熱下にも拘らず、師弟一体となつて吟道の錬成が出来まして大変有意義であつたと思ひます。今後とも出来るだけ多くの一般会員が出席し  
たら良いと思ひます。

### 夏季吟道講座を受講して

松和支部 宇都宮 徳 岳

その講座の魅力的な研修状況を誠に僭越ながら私流の戯歌に託して所感を披露させていただきます。

○第一講 秋風の歌 齋千葉岳関

一講は 千葉会長の 新体詩

暑気を飛ばせと 「秋風の歌」

○第二講 楓橋夜泊、再到楓橋 齋村田岳澗

詩心をば 表現するの 吟法を

「楓橋夜泊」で 歯切れ良く説く

○第三講 さびしさはおなじ心 齋鈴木岳抄

やりにくし 節も調べも なかりけり

これが指導に 美声で反復

○第四講 桜花の詞 齋中村岳愛

人口に 膾炙されたる 「桜花の詞」

練れた指導で 味がひとしお

○第五講 静夜思、親思ふ 齋加藤岳洵

迫力の 吟の指導の 絶句和歌

吟詠力が 倍加した気が

○第六講 雑詩 齋加藤岳相

御陰様 今日出席の 受講者は

「五言の落し」 全員会得す

○夏季吟道講座を終えて

炎暑下の 吟道講座 有意義に

師弟一体 吟力鍛えて

## 合吟コンクールに参加して

逗子A 村井知岳

暑い一日でしたが、第20回碩心会吟道温習会も盛会裡に終了致しました。コンクールも無事終りほつとしております。

最近年と共にコンクール疲れで今年からは楽しく参加しようと思っていたのですが、コンクールというものがそういう思いで取り組めないことがわかりました。

投げだしたい気持と後に引けない気持との葛藤ですが、声をかけていただけることを有難く思い、参加してみようと思えます。気力があるうちは何とか頑張ってみようと思っております。

これからも一吟集中で皆さんと力を合わせ最善をつくしたいと思えます。

### 県本部 平成10年度 高齢者表彰

来る9月6日(日)横須賀第二地区大会に於て左記の方が表彰されます。(追加分)

松野 太蔵(岳宝) 計9名

## 合吟コンクールに初出場して

堀内E 西岡清岳

第20回碩心会吟道温習会に於て行なわれた合吟コンクールに参加させていただきました。私にとってコンクール出場は初めての経験で、最初は参加出来るかと思いましたが、長い間吟道を精進した一つの目安として結果を出したいと参加を決意しました。

当日舞台裏で待っていると別の組の人達の吟が聞えてきました。どの吟も素晴らしく、その練習量の多さを物語っているかのようでした。いよいよ順番も近くなり、覚悟をしました。お教室でのお稽古では、最初何回か合吟し、それから独吟をします。普段練習している様に出来れば大丈夫と心が落ちつき、平常心で舞台に出る事が出来ました。結果は五位に入賞させていただきました。これも普段の練習に裏付けられたものと思っております。発表会と違ってコンクールは順位の出る厳しいものです。今回は幸運にも入賞することが出来ました。もし又出場するチャンスがあらましても、入賞するとは限りません。今回コンクールの初挑戦は、私自身が初心に戻る良い勉強となりました。今後一層の努力と精進をしていきたいと思えます。

## 長寿の話

逗子B 磯村朋岳

(一)  
近所のおじいちゃんは、散歩をしたり、畑仕事をしたり、とても元気。

道で会って「百才までは大丈夫、保証するわ!」と言ったら、「あと三年か!」と言。「え!! おじいちゃん今九十七才なの?」

(二)

朝テレビで「今月の運勢」のコーナーで〇月生まれの人運勢は「年上の人をたてればラッキーな事が!」だった。九十七才のおじいちゃんの生まれ月だったので教えてあげると、おじいちゃんは「そういわれても周りには年上の方は、すっかりいなくなつてね!」

短歌 逗子B 小池和岳

入院は 母の意ならず在宅の

介護と決めて遮二無二動く

心ばえ 良き人なれと 祈るのみ

ヘルパーさんと即日の顔合せ

体温に迫る 暑さよ病みて臥す

友 母いかにと案じ仕事す

第20回碩心会温習会会計報告

収入の部 開催日：平成10年7月5日

科 目	金 額
本部会計より	110,000 円
お弁当代	
葉山地区 (142)	85,200
逗子地区 (113)	67,800
大船地区 (25)	15,000
合 計	278,000

支出の部

科 目	金 額
プロ編成会場費	1,000 円
お茶代	1,402
プログラム代	77,700
コンクール トロフィー	9,330
参加費、副賞代	10,450
お弁当代 (500 X 284、事務4を計)	142,000
バックお茶	21,375
お茶の葉代	1,320
賞状揮毫代	3,000
尺八御礼	5,000
冷房費	2,250
会議費、紙代他	3,173
合 計	278,000 円

企画部長 内山俊岳 印

【俳句】

秋立つや並びて清し弥宜の杳  
ひぐらしや子は夕鳩の輪の中に  
「浄心の鐘」の一打に秋澄めり

岩崎 岳 恵

雨茫茫眠たくなりぬ合歡の花  
粧へることに気遣ふ半夏生  
盆寺や散華五色の蓮の花

山口 岳 夕

流燈を送りて波に濡れてる子  
曼珠沙華彼の世に逢いたき人多し  
水増せば伏し引けば立つ川すすき

石渡 桂 岳

白槿花沖の寧き日つづきをり  
さりげなく齡聞かるる草の花  
魚透きとほる新涼の忘れ潮

佐久間 爽 岳

六地藏衣あらたに秋の月  
溪流の一葉にすがる秋の蝶  
せせらぎは夢を追ふ音秋の夜

板橋 雅 岳

小面のほほゑみ溢る敬老日  
甘き香のたつ青蜜柑山の照り  
数珠玉や野川ここより音かはる

三 壁 照 岳

入 会

- 496 岸川芳子 逗子市小坪五―十三―十七  
(唐木山) ☎〇四六七―二四―三九二四  
(住所変更)
- 99 三壁照岳 葉山町一色一四六〇―四  
(銀 詠) ☎〇四六八―七五―二四五〇  
退 会
- 303 坂本周岳(堀内D) 213 木野本明風(吟甫)  
風間恵風(逗子A)

編集後記

7月28日の夜、例会の指導者講習会を懇談  
会に切替え、碩心会の在り方、資格、研究の  
ために会を持つこと等々の意見が出された。  
千葉岳関先生が会員の要望をひろく聞き、  
取入れたいと意欲を示された。皆様のご希望、  
その他を小さなことでも指導の先生を通して  
お聞かせ下さい。

広報部